

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年10月31日

株式会社 ベネッセホールディングス

2012年3月期 第2四半期業績概要 および通期業績見通し

2011年10月31日
株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役副社長兼CFO
福原 賢一

セグメント別連結業績(対前年同期)

■ 前年同期比増収減益

(単位：百万円)

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
国内教育	121,838	120,327	▲1,510	▲ 1.2
海外教育	4,599	5,255	655	14.2
生活	13,488	11,493	▲1,994	▲ 14.8
シニア・介護	27,959	32,119	4,160	14.9
語学・グローバル人材教育	26,152	28,033	1,880	7.2
その他	11,089	10,452	▲637	▲ 5.7
売上高合計	205,127	207,680	2,553	1.2
国内教育	28,735	24,633	▲4,102	▲ 14.3
海外教育	▲401	▲740	▲339	-
生活	▲442	▲254	188	-
シニア・介護	1,530	1,831	300	19.6
語学・グローバル人材教育	97	398	300	309.5
その他・調整額	▲806	▲1,156	▲349	-
営業利益合計	28,712	24,711	▲4,001	▲ 13.9
経常利益	29,401	25,287	▲4,113	▲ 14.0
四半期純利益	15,718	13,267	▲2,450	▲ 15.6

売上高/営業利益の主な増減要因(対前年同期)

売上高の増減要因	国内教育	「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」 高校講座事業 中学講座事業 小学講座事業 こどもちゃれんじ事業 東京個別指導学院 学校向け教育事業・周辺事業等	▲23 ▲16 ▲5 +3 ▲5 ▲7 +15	(単位:億円)
	海外教育	海外通信教育講座の在籍増等	+6	
	生活	事業収束に伴う減収 雑誌の減収等	▲12 ▲7	
	シニア・介護	ホーム延べ入居者数増	+41	
	語学・グローバル人材教育	為替のマイナス影響 ベルリッツの増収等	▲15 +33	
	その他	テレマーケティングジャパンの減収等	▲6	
	営業利益の増減要因	国内教育	「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」 東京個別指導学院 学校向け教育事業・周辺事業等	
海外教育		中国事業への投資等	▲3	
生活		費用削減等	+1	
シニア・介護		増収による増益等	+3	
語学・グローバル人材教育		増収による増益等	+3	
その他・調整額		全社費用等	▲3	

「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」延べ在籍数/月あたり平均単価

【講座別延べ在籍数】

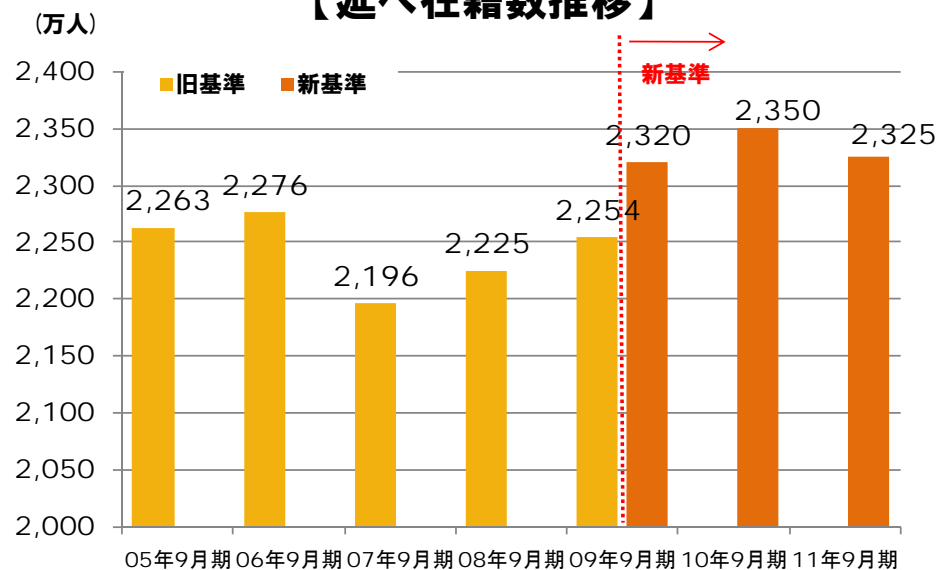
(単位:万人)

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
高校講座	191	171	▲20	▲10.8
中学講座	423	417	▲6	▲1.5
小学講座	1,010	1,032	21	2.1
こどもちゃれんじ	724	705	▲19	▲2.6
合計	2,350	2,325	▲25	▲1.1

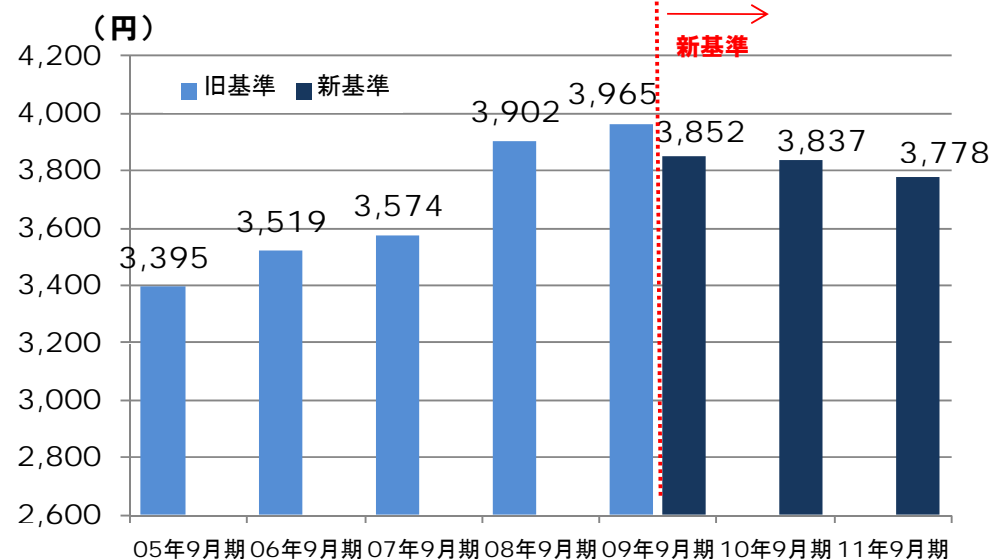
(注)新基準では、延べ在籍数に「こどもちゃれんじ baby」の延べ在籍数を含んでいます。

※延べ在籍数は、各年4月から9月までの月次在籍数の累計です。

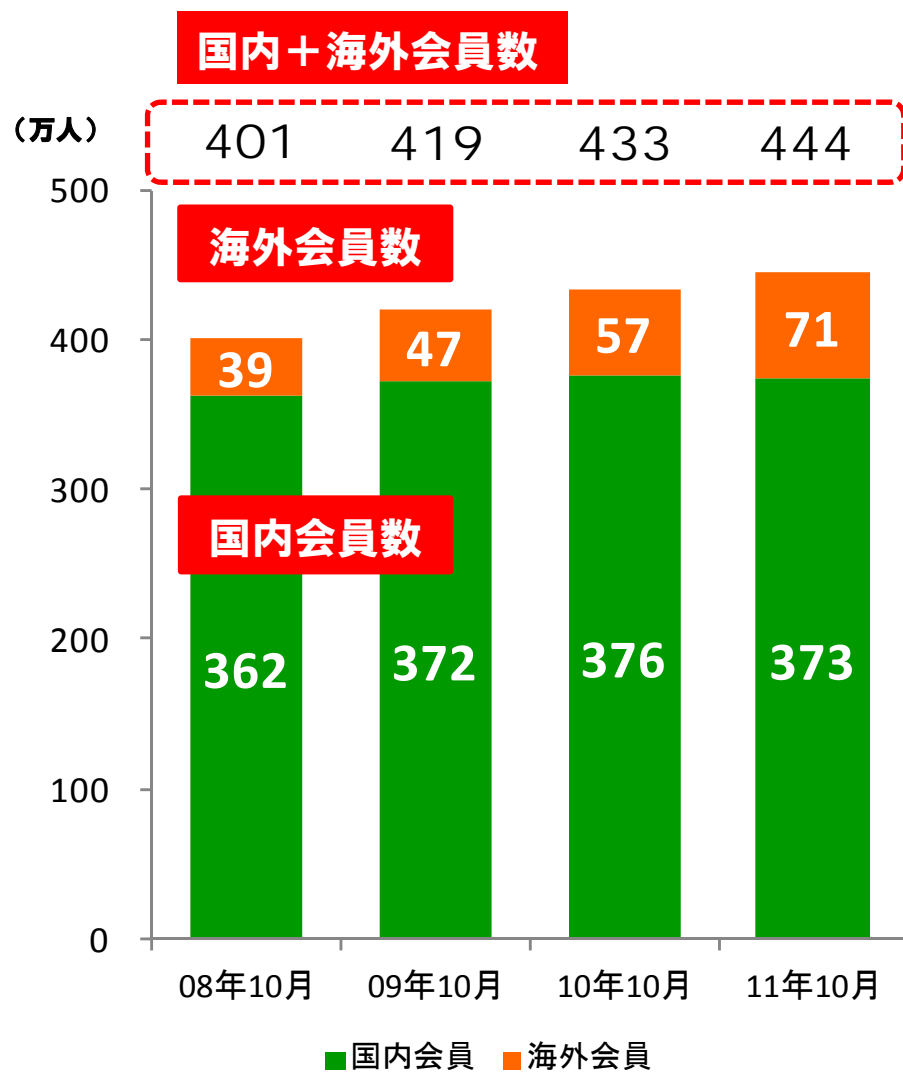
【延べ在籍数推移】



【月あたり平均単価推移】



「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」2011年10月会員数(国内+海外)



【10月会員数】

(単位:万人)

	2010年10月	2011年10月	増減	増減率 (%)
高校講座	28	26	▲2	▲7.0
中学講座	64	64	0	0.4
小学講座	159	162	3	1.9
こどもちゃれんじ	125	122	▲3	▲3.1
国内合計	376	373	▲3	▲0.7
海外(中国・韓国・台湾)	57	71	14	25.2
合計	433	444	11	2.7

連結業績見通しハイライト

■2012年3月期業績見通しを上方修正

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期 (見通し)	増減	増減率(%)	2012年3月期 (5月公表見通し)	増減
売上高	412,828	421,900	9,072	2.2	418,300	3,600
営業利益	42,867	33,800	▲9,067	▲21.2	32,500	1,300
営業利益率(%)	10.4	8.0	—	—	7.8	—
経常利益	44,703	34,300	▲10,403	▲23.3	33,000	1,300
当期純利益	20,586	18,300	▲2,286	▲11.1	18,000	300
為替レート(ドル/円)	87.69	80.00	—	—	85.00	—

セグメント別連結業績見通し

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期 (見通し)	増減	増減率(%)
国内教育	240,576	238,400	▲2,176	▲0.9
海外教育	9,394	11,100	1,706	18.2
生活	28,260	25,500	▲2,760	▲9.8
シニア・介護	58,897	67,200	8,303	14.1
語学・グローバル人材教育	53,989	58,700	4,711	8.7
その他	21,709	21,000	▲709	▲3.3
売上高合計	412,828	421,900	9,072	2.2
国内教育	40,619	33,200	▲7,419	▲18.3
海外教育	▲691	▲1,400	▲709	-
生活	▲473	▲1,400	▲927	-
シニア・介護	4,078	5,200	1,122	27.5
語学・グローバル人材教育	767	400	▲367	▲47.8
その他・調整額	▲1,432	▲2,200	▲768	-
営業利益合計	42,867	33,800	▲9,067	▲21.2
経常利益	44,703	34,300	▲10,403	▲23.3
当期純利益	20,586	18,300	▲2,286	▲11.1

売上高/営業利益の主な増減要因(見通し)

売上高の増減要因	国内教育	「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」 東京個別指導学院 学校向け教育事業・周辺事業等	▲26 ▲11 +16	(単位：億円)
	海外教育	海外通信教育講座の在籍増等	+17	
	生活	事業収束に伴う減収 雑誌の減収等	▲23 ▲5	
	シニア・介護	ホーム延べ入居者数増	+83	
	語学・グローバル人材教育	為替のマイナス影響 ベルリッツの増収等	▲27 +74	
	その他	テレマーケティングジャパンの減収等	▲7	
営業利益の増減要因	国内教育	「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」 東京個別指導学院 学校向け教育事業・周辺事業等	▲77 ▲4 +7	
	海外教育	中国事業への投資等	▲7	
	生活	新規事業への投資、雑誌の減収による減益等	▲9	
	シニア・介護	増収による増益等	+11	
	語学・グローバル人材教育	M&A関連費用等	▲3	
	その他・調整額	全社費用等	▲7	

資本政策

■2011年度は100億円を上限とした自己株式取得枠を設定

自己株式

- **自己株式取得**
280万株／100億円を上限とした自己株式取得枠を設定
(2011年5月23日～2012年3月31日)
⇒155万株／53億円を取得(9月30日時点)
- **発行済株式総数の5%超過分は原則每期消却**
⇒220万株の自己株式を消却(6月30日)

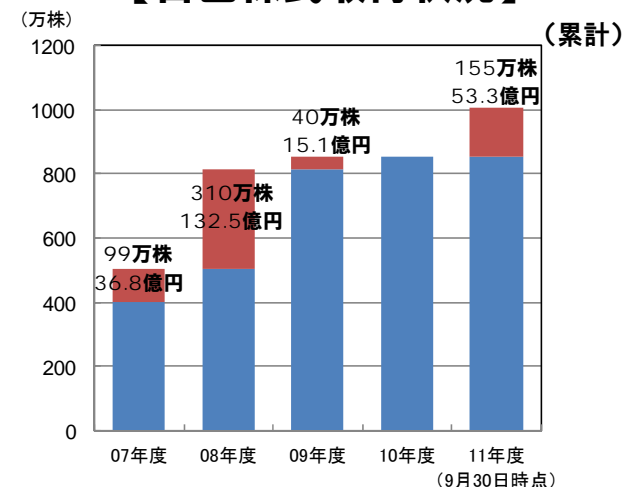
配当

- **目標配当性向35%以上**

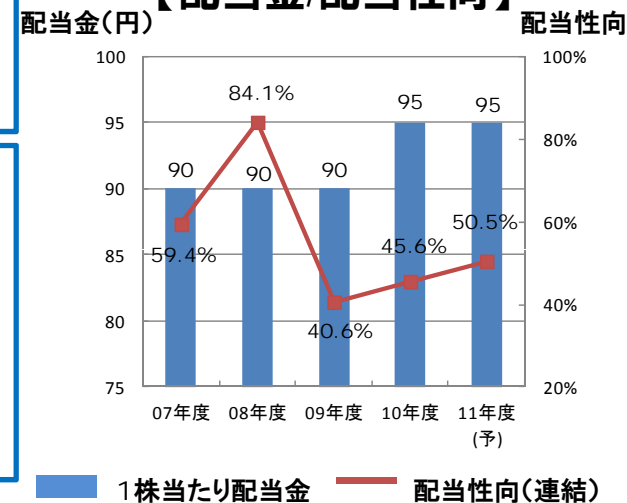
事業投資・M&A

- **事業投資**
中長期的な成長への投資、基盤投資等
- **M&A**
事業領域ごとに自立的な成長を目指して積極的に実施

【自己株式取得状況】



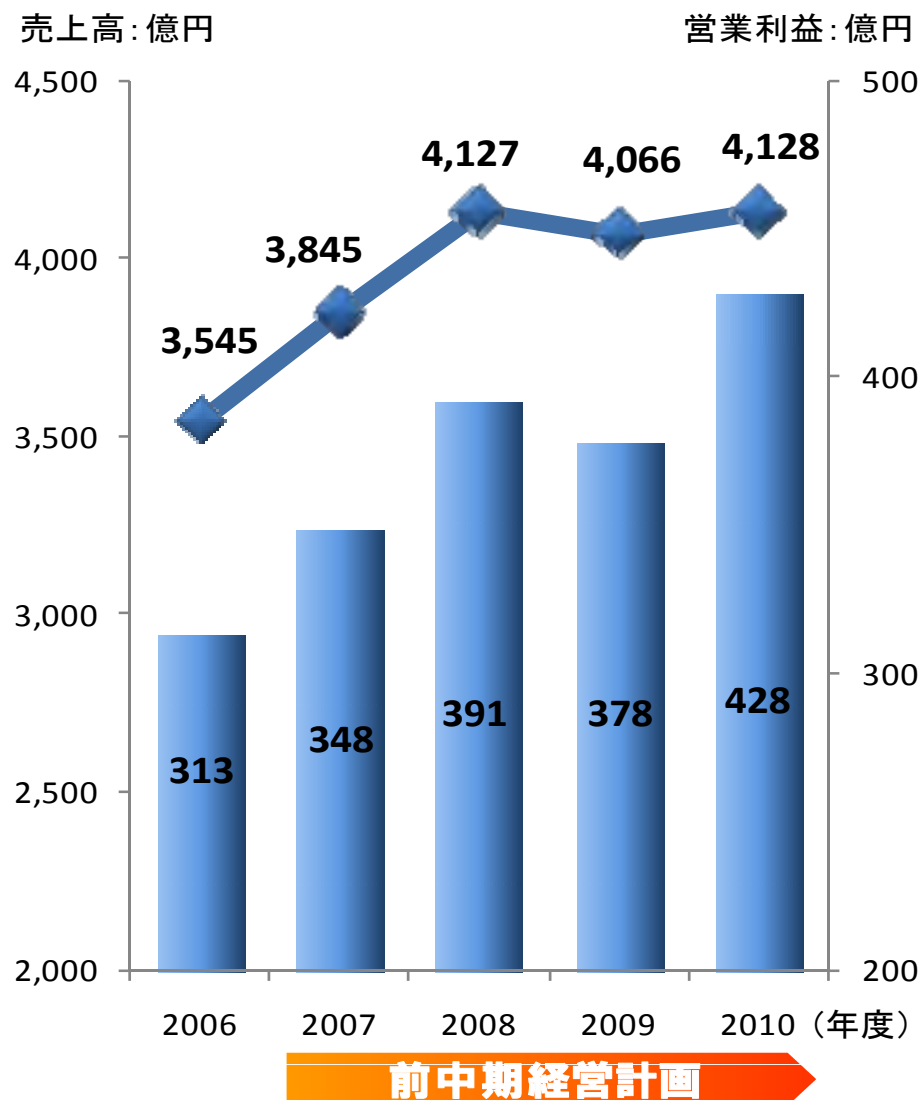
【配当金/配当性向】



2012-2016年度 新中期経営計画

2011年10月31日
株式会社ベネッセホールディングス
代表取締役社長
福島 保

前中期経営計画(2007-2010年度)の振り返り



前中期経営計画は概ね目標を達成

(単位:億円)

	2010年度 目標	2010年度 実績
売上高	4,215	4,128
営業利益	410	428
ROE	12.0%	11.3%

CAGR

売上高:3.9%、営業利益:8.2%

主な取り組み

- 持株会社体制への移行
- 進研ゼミの次世代化
- 中国事業・介護事業の拡大
- 積極的なM&A

ベネッセグループ成長ビジョン

「教育(=人づくり)」と「社会的課題の解決」に取り組む企業として

①世界の育児と教育、人材育成をサポートする

「教育事業分野で世界No.1企業」 を目指します

②さまざまな高齢化の問題解決のため、

「介護関連事業を重要な成長分野と位置づけ、さらなる成長」 を目指します

目標数値

2016年度 売上高6,000億円、営業利益率10%

- ・既存事業で確実に利益を確保し、グローバル展開と新規事業拡大に配分
- ・グローバル展開の加速により、海外売上高比率25%を目指す

(単位:億円)

	2010年度 実績	2011年度 見通し	2016年度 目標	CAGR
売上高	4,128	4,219	6,000	7.3%
営業利益	428	338	600	12.2%
海外売上高比率	11.7%	12.8%	25.0%	—
ROE	11.3%	9.8%	12%以上	—

重点実行項目

「教育・育児」「語学・グローバル人材教育」「シニア・介護」
の領域で、成長戦略を推進する

グローバルな
事業展開の
加速

国内の教育・
育児事業の
強化・拡大

シニア・介護
事業の拡大

売上高CAGR(2012-2016年度)イメージ

20%程度

3%程度

8%程度

海外教育

・こどもちゃれんじ事業のグローバル展開強化

- 中国事業拡大の加速 ⇒ 目標会員数200万人(2018年度)
- 新興国(インドネシア、ブラジル等)へ展開予定

・中国での新規事業の開拓

- 教室事業等(幼児教室・塾等)

・海外先進企業との提携・出資等

語学・グローバル人材教育

・企業向け語学・グローバル人材教育事業の強化

- Global Leadership Training(GLT)事業の拡大
- Media Based Learning(Face to Face + TEL + Web)の推進 等

・新興国市場の拡大

- 中国、インド、中近東等

・ELS事業(留学支援事業)の強化

- International Pathwaysの推進、地域的拡大

・進研ゼミの次世代化

- デジタル・ネットワーク時代に対応した学習スタイルの提供
- マーケティング改革
- コスト構造改革による筋肉質な体質作り

⇒ 目標シェア25%(2018年)+ 継続率アップ= 延べ在籍数最大化

・英語事業の強化

- ベルリッツや進研ゼミのアセットを活用した英語事業の拡大
- 留学支援事業強化(グローバル人材の養成、就業力の養成等)

・塾・教室を使ったサービスの拡大

・妊娠・出産・育児事業分野への集中・強化

・通信販売事業のビジネスモデル転換(eマーケットプレイス)

・既存事業の着実な成長

- ホーム数の拡大(25-30ホーム/年 開設予定)
- サービスエリアの拡大

・対象市場の拡大

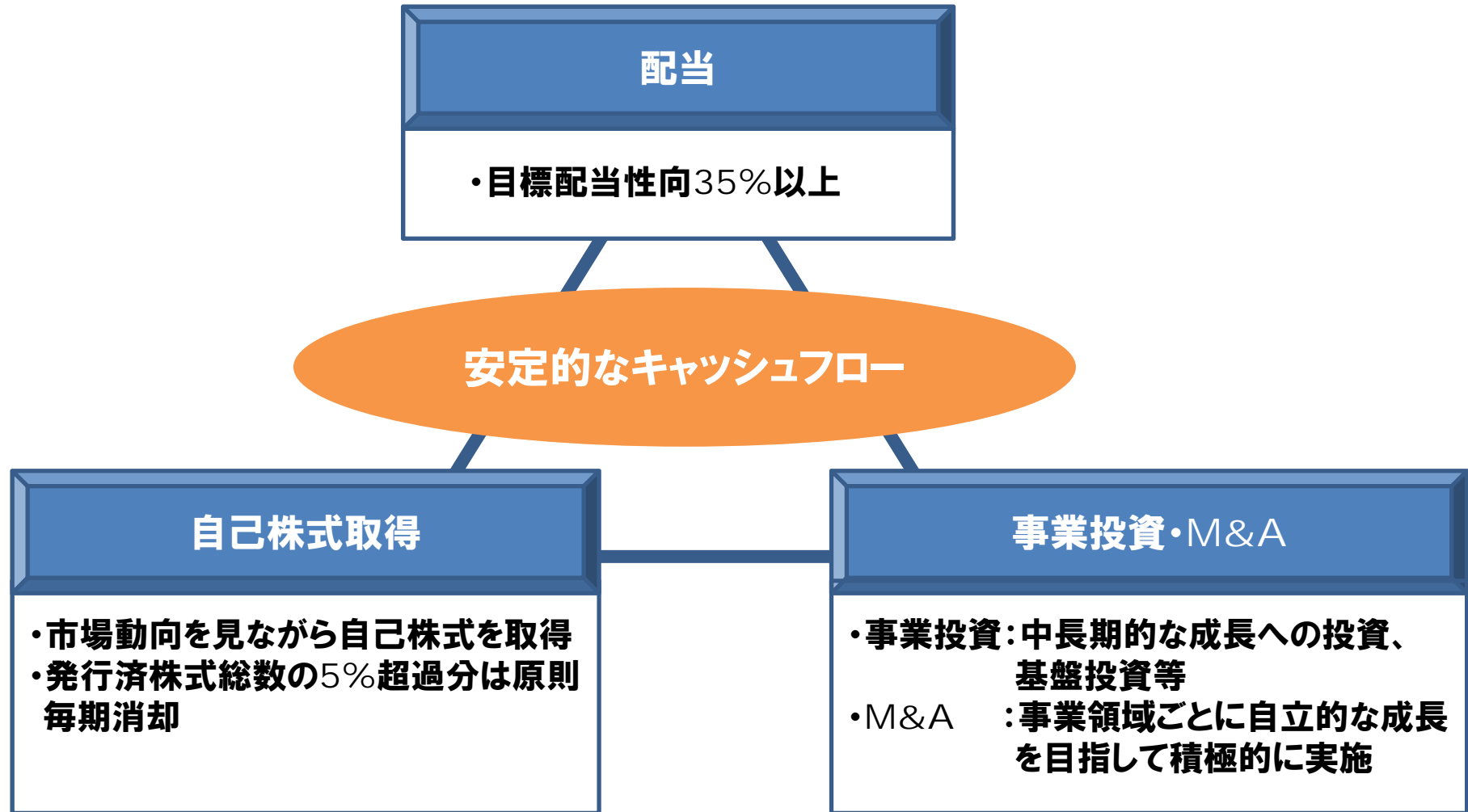
- 低価格帯への参入
新シリーズ「こちち」開設

・事業領域の拡大

- 規制リスク、多様なニーズへの対応
- 介護関連の周辺事業の開発

資本政策

■成長に必要な事業投資と株主還元を引き続き積極的に行う





本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下されることは、お控えいただきますようお願いいたします。

2012年3月期 第2四半期 補足資料

2011年10月31日

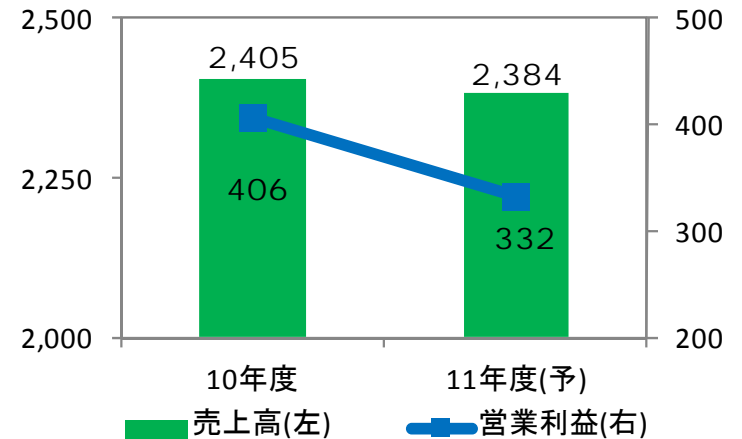
株式会社ベネッセホールディングス

国内教育事業

■ 2011年度上期

- 「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」延べ在籍数が減少
- 「スタディサポート」を中心に、高校向け教育事業が好調
- 「進研ゼミ高1講座」リニューアル(2011年4月)
- 下期以降の取り組み
- 「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」2012年4月会員数の回復を目指す

【売上高・営業損益予想(億円)】



次世代型商品投入スケジュール

2011年度 2012年度
(予定)

小学講座	次世代赤ペン導入 小学5,6年生	デジタル学習教材 小学4年生
中学講座		Web学習サービスを 全員に提供
高校講座	新高校講座 高校1年生	新高校講座 高校2年生

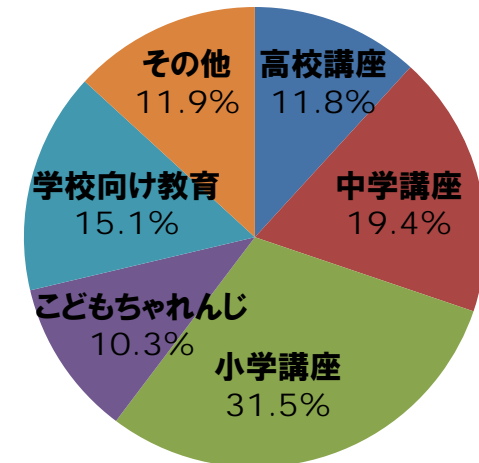
※「進研ゼミ中学講座+i」中学1年生～3年生は2008年度～2010年度に投入済み

新教材「ポケットチャレンジ」



※進研ゼミ小学講座「チャレンジ4年生」2012年4月号教材

【売上高内訳と構成比(2011年度上期)】

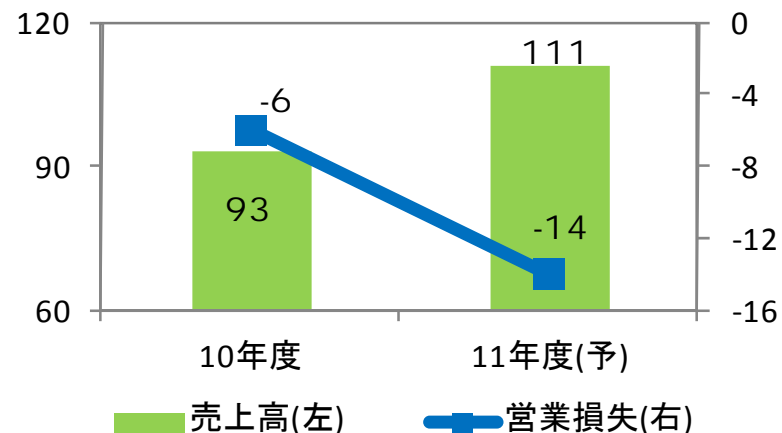


海外教育事業

■ 2011年度上期

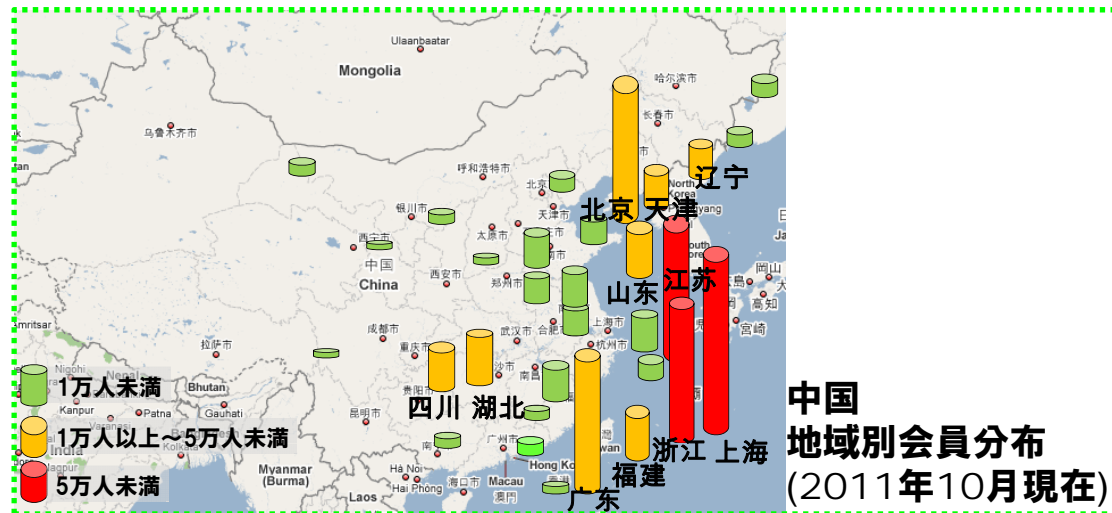
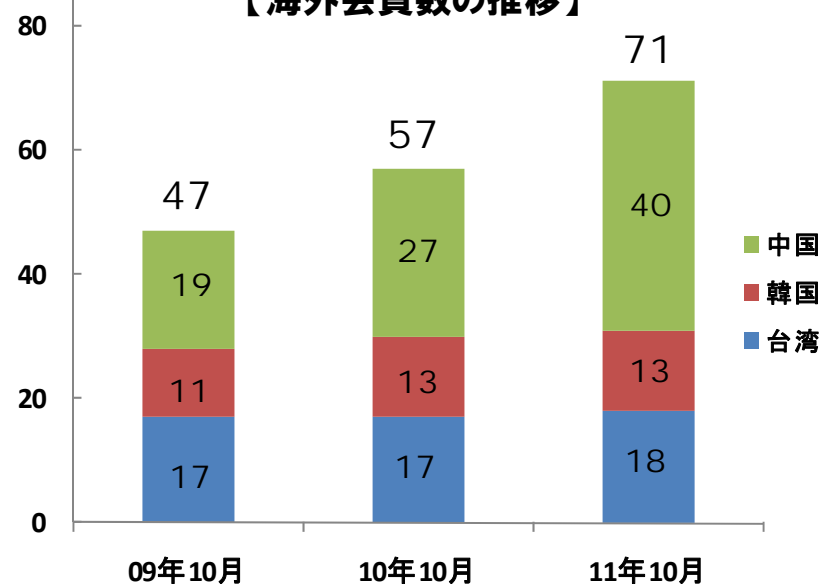
- 中国の会員数40万人突破(2011年9月)
- 広州事務所開設(2011年1月)
- 中国全土10都市で巧虎コンサートを実施
- 巧虎テレビ番組開始(2011年9月)
- 下期以降の取り組み
- 中国の会員数48万人目標(2012年4月)
- 成都事務所開設(2012年4月)
- 中国全土で店舗展開(2011年12月80店舗)

【売上高・営業損益予想(億円)】



(万人)

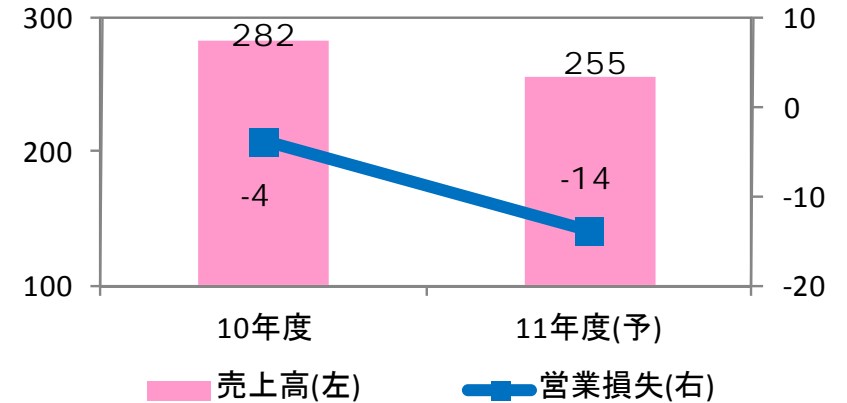
【海外会員数の推移】



■2011年度上期

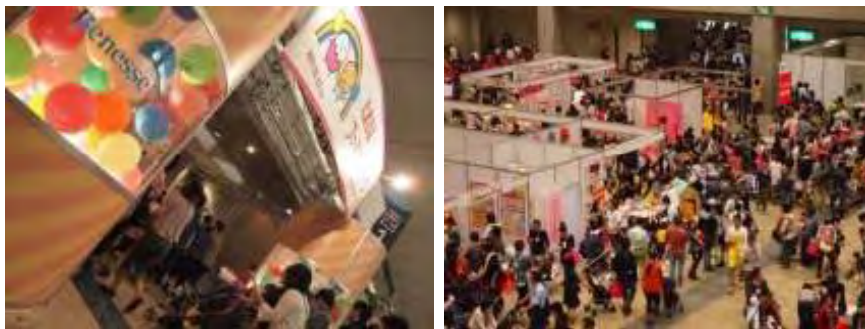
- 不採算事業の見直し
(ボンメルシィ!、こっこクラブを4月号をもって休刊 等)
- 下期以降の取り組み
- 妊娠・出産・育児に特化したeマーケットプレイス
「ベネッセ ウィメンズモール」オープン (2011年11月)
- ネット強化による新しい事業モデルの推進

【売上高・営業損益予想(億円)】



〈たまひよ18周年〉

過去最大級のベビー&マタニティイベント
キャラクターのライセンスビジネス拡大



たまひよファミリーパーク2011開催

〈ベネッセ ウィメンズモール〉
2011年11月にオープン予定

- 妊娠・出産・育児に特化したショッピングモールのサイト
- 妊娠・出産・育児関連の店舗やメーカーが約200店舗出店
- 月齢や状況に応じた商品が見つかりママ同士のコミュニケーションを通してお客様にぴったりのお買い物ができるサイト

シニア・介護事業

■ 2011年度上期

- 2011年度上期:210ホーム (BSC:179、BSJ:31)
7ホーム新設 (BSC:5、BSJ:2)
- 入居率: 94% (BSC)、91%(BSJ)
- 低価格帯の新シリーズ「こちち」を開設(2011年6月)

■ 下期以降の取り組み

- 2011年度下期14ホーム新設予定 (BSC:10、BSJ:4)

※BSC:ベネッセスタイルケア BSJ:ボンセジュール

成城の邸宅地に古き良き洋風建築の意匠を活かした
成城歐林邸を開設予定

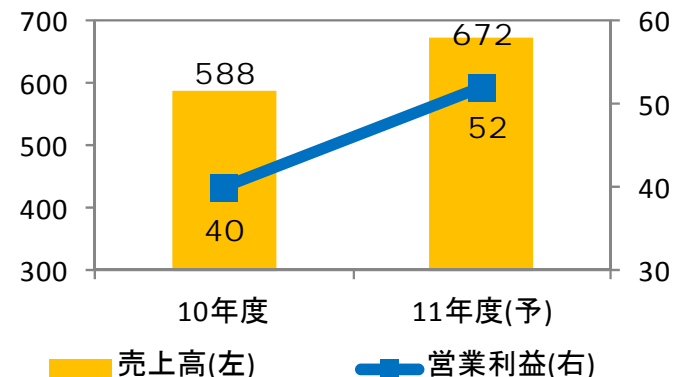


成城欧林邸 土地建物の所有形態：事業主体非所有

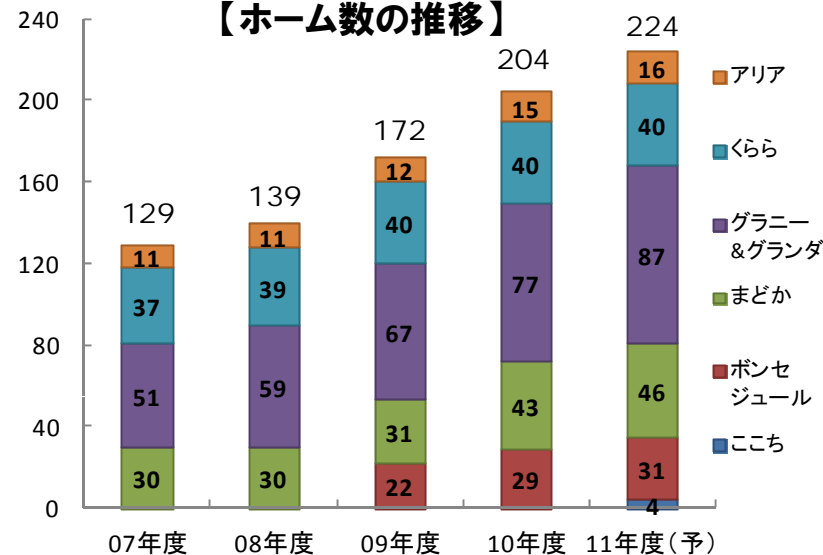
ベネッセスタイルケアは、
「成城欧林邸」(世田谷区)
を2012年3月に開設予定。

要介護の方には安心・安全な
生活を、自立の方にはアクテ
ィブな生活をご提案します。

【売上高・営業損益予想(億円)】



【ホーム数の推移】



2011年度 新規開設:21(上期7、下期14) 閉鎖:1

シニア・介護事業 ホーム数

	2010年9月末	2011年3月末	2011年9月末
アリア	13	15	15
くらら	40	40	40
グラニー&グランダ	69	77	78
まどか	39	43	46
ベネッセスタイルケア計	161	175	179
ボンセジュール	29	29	29
こごち	-	-	2
ボンセジュール計	29	29	31
合計	190	204	210

(注) (株)ボンセジュールの決算日は2月末日のため、第2四半期は8月末日、通期は2月末日の数値を集計しています。

語学・グローバル人材教育事業

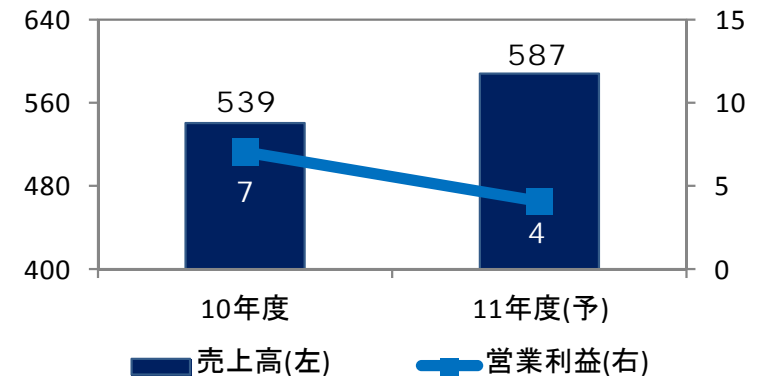
■2011年度上期

- ドルベースで大幅な増収増益
- ELSオーストラリアの開業(5月)

■下期以降の取り組み

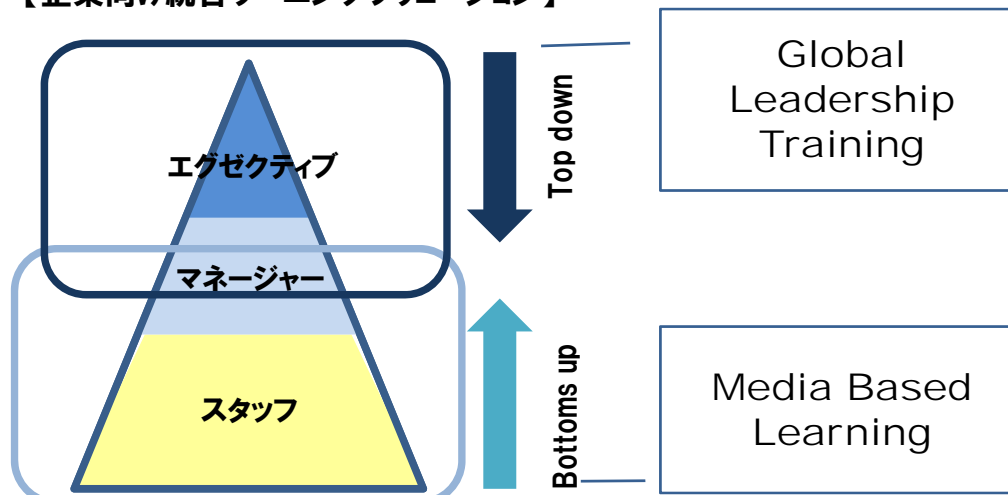
- Media Based Learning (MBL) の推進
 仏Telelangueを子会社化(8月)
- Global Leadership Training (GLT) 事業の拡大
- ELS International Pathwaysの推進

【売上高・営業損益予想(億円)】



為替レート : 2011年上期(実績) 81.74円/ドル
2011年通期(前提) 80.00円/ドル

【企業向け統合ラーニングソリューション】



GLT/ランゲージサービス/メディアベースドラーニング
カスタマイゼーション/統合ラーニングソリューション



Global Leadership Training (GLT)



Telelangueの
オンラインレッスン

ベルリッツ地域別内訳

(売上高、EBITA:百万米ドル、レッスン数:千レッスン)

	2010年6月期			2011年6月期			売上高 増減率 (%)	EBITA 増減率 (%)	レッスン 数 増減率
	売上高	EBITA	レッスン数	売上高	EBITA	レッスン数			
アメリカズ	55.8	2.2	972.5	64.5	3.8	1,020.0	15.6%	72.7%	4.9%
ヨーロッパ	88.4	4.8	1,291.7	92.5	3.1	1,269.3	4.6%	▲35.4%	▲1.7%
アジア	63.3	2.5	780.9	76.1	4.8	809.4	20.2%	92.0%	3.6%
地域別合計	207.5	9.5	3,045.1	233.0	11.7	3,098.7	12.3%	23.2%	1.8%
ELS	53.1	8.3	-	83.8	16.3	-	57.8%	96.4%	-
HQ その他	2.7	▲5.2	-	3.1	▲9.3	-	14.8%	-	-
合計	263.3	12.6	3,045.1	319.9	18.7	3,098.7	21.5%	48.4%	1.8%

ベルリッツ地域別拠点数

2011年6月末現在

	ベルリッツ 直営		ベルリッツ フランチャイズ		ELS 直営		ELS フランチャイズ		合計	
アメリカズ	137	(-4)	35	(1)	57	(1)	1	(0)	230	(-2)
ヨーロッパ	160	(-1)	72	(2)	0	(0)	11	(-2)	243	(-1)
アジア	73	(0)	7	(0)	2	(1)	10	(-3)	92	(-2)
内、日本	59	(0)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	62	(0)
合計	370	(-5)	114	(3)	59	(2)	22	(-5)	565	(-5)

(注) ()内は2010年12月末からの増減数

CAPEX／減価償却費

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)
CAPEX	8,131	9,997	1,866	23.0
減価償却費	6,691	6,806	115	1.7



本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下されることは、お控えいただきますようお願いいたします。